異國船渡来に関する公文書写

862
5

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』 請求記号 862-5

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5

ガラス使用

862-5

862
5

丑六月六日

浦賀奉行
井戸浜吉郎

古浦賀表に異國船渡来等に付下御賜品等之事
前後伺前書殿御伺候之

同日

牧野伺前書殿御伺候之事
此差者書面
寺社奉行所
大目附に

覺

今度浦賀表に異國船渡来等万三円海に乗入出義も難計候事
[illegible]

[illegible]

同六月七日　市目付

戸川中務少輔
松平十郎兵衛

[illegible]

[illegible]

上使宮部兵部大輔
日光御門跡

[illegible]

同六月八日

牧野備前守殿市谷御屋敷へ通

市谷御屋敷
[illegible]
大目付へ

[illegible]

大目付へ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

城又ハ於場ニ於ケ周ニ積リ[illegible]
[illegible]場末ニ[illegible]
限リ[illegible]
六月
同日
[illegible]
[illegible]
同六月廿
[illegible]
金田武[illegible]
松平[illegible]

[illegible]
同六月廿
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
同六月十二日
牧野[illegible]

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5
ガラス使用

村々浦々之者共え無益之失費不相掛様通行之節旅宿休泊之儀
新規ニ建物いたし候向ニ者右様之儀一切無之様申付置候通
同様取計候様可被致候
但右箇所之儀者是迄之通相心得可申其外
当分御警衛之儀ニ付右場所之御備場御含之上厳重可被取計候
右之通可被相達候
六月
右之趣向々え可被相達置候事
同六月十四日
阿部伊勢守殿御渡御書付写
御奏者番衆
寺社奉行衆
大目付江

於相州浦賀表異国船夜分打掛候節者異国船ニ候而も右之儀
当分年之内右場所海上浦賀表大筒打掛候節者其心得可有之
右之趣向々え可被相達置候事
六月
同七月三日
御奏者番衆
此節御備場之儀 但其役々文武之館ニ而古来之法ニ従ひ文武之道
ニ相励候者ニ有之候ニ付御警衛之儀ニ付大炮打掛等之儀無油断修業
致し右ニ付何も心得違無之様可被致候得共諸向ニ而之儀
弥厳重相守候様可致候
七月
牧野備前守

七月十五日

阿部伊勢守殿御様ニ御書付写

御美合ニ右ニ書之候
右ニ付ニ付ニ候
大目付ニ

西丸御書請ニ付万石以上ニ御金ニ付　御身ニ御面ニ付一万石以下ニ割
上納金ニ分ニ付御旅意も有之ニ付上納ニ成　御急ニ付ニ取扱ニ
相心得ニ御傳ニ成ニ付ニ御掛ニ相一ニ付ニ
右ニ通万石以上ニ御ニ付ニ付ニ付ニ相ニ付

七月

同　七月廿一日

御書ニ右ニ書之候

人数調練并ニ無言入　無言ニ御停止中ニ付ニ文武ニ付ニ大砲ニ付ニ試ニ日ニ
相心得ニ付ニ吉ニ付ニ此度ニ御ニ付ニ御ニ付ニ御停止ニ付ニ
極ニ付ニ無言ニ付ニ同ニ御ニ相一ニ付ニ依ニ御達ニ付ニ以上

七月

同　七月廿二日

公ニ御様御名例御美合ニ生ニ付ニ付ニ今ニ御ニ付ニ
無事御出ニ御老中列座伊勢守殿ニ付ニ御ニ
右大将様今日ニ
御和丸ニ御川移ニ付ニ

七月廿二日

阿部伊勢守殿御様ニ御見ニ出写

見

此ニ御書請ニ停止ニ付ニ御ニ付ニ御ニ付ニ御ニ付ニ差ニ付ニ普請ニ生ニ外

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5

ガラス使用

金二
時候二

二尾御留主居
下曽根金三郎

右口上之通御国筋之義四月初旬之時 [illegible] 旨於西[illegible]列社
同前御日人衆 御接拝候相候義之以前年寄之候得社

[illegible]
辻 義太郎
[illegible]
吉谷川東三郎

[illegible]
時候二

手配[illegible]義四月初旬之時 [illegible] 旨於同席 [illegible] 御接拝候相候義之
遠藤但三郎 [illegible] 井戸[illegible] 御[illegible]

時候三

右浦賀表に[illegible] 教授之義四月初旬之時 [illegible] 旨於同席列社
同前御[illegible] 御接拝候相候義之

同九月九日

阿部伊勢守殿御[illegible]

大目付に

今般江戸近海御[illegible] 御[illegible] 御[illegible]
[illegible] 御[illegible] 御[illegible] 御[illegible]
[illegible] 御[illegible] 御[illegible] 御[illegible]
[illegible] 御[illegible] 御[illegible] 御[illegible]
[illegible] 御[illegible] 御[illegible] 御[illegible]
[illegible] 御[illegible] 御[illegible] 御[illegible]

九月

同日

大目付に

人数調練并具諸士数等入録者古之義ハ軍備等一之要務之如是之至御
曲輪近之端而ハ調練難不成ハ先支ハ何も有之成ニ付業外曲輪外之
處者ニ而ハ人数調練并具諸士数等入録者古之義ハ其旨ニ 御書ニ付諸家用
等一ニ修業可成ハ其調練之方ハ宜程ニ放ハ家ハ先達不達度可致相心得ハ
右之趣宗可相達ハ向之ニ而之達ハ

九月

同

九月十五日別紙

前船之外大船停止之
御法令ハ此方今之時勢大船必用之儀ニ付自今諸大船造制被成
此義ハ御免之被下ハ当作用方并船数之事細相伺可之候尚旨之 御書ハ此

右相御制被御要用之事ハ此ハ也ニ至之
御祝宗之御遣之志御候遣之
恩賜之事 御書ハ此ニ付ニ而ハ御制禁ニ而之義ハ諸侯先祝相当之儀而
別ニ御書ニ而之事相心得ハ

九月

同

九月十四日

阿部伊勢守殿御屋ハ御出年寄

此奉書者書之ハ
寺社奉行ニ付ニ
大月付ハ

近来異国船被之近海之渡来被之内海ハ無之ハ此事ハ当之ハ海岸
通屋敷有之面之地理ニ應防禦之事ハ此ニ心一杯之社中守場和之事

儒者

古賀謹一郎

古就同所ニ而後用意ニ有於市格等ニ部屋保所仰ニ而殿ニ 仰候之

筒井肥前守

古別所ニ而ニ於大目付ニ 仰付勤ニ同ニ手ニ而ニ而ニ有之ニ有

於美蓉ニ間御老中列ニ理紀伊ニ殿ニ 仰候之

古賀謹一郎

古別所ニ而ニ於市衣ニ 仰付市役科百俵ニ而ニ有於市格等ニ部屋

保所列ニ在日前紀伊ニ殿ニ 仰候之

同十月有

牧野備前守殿市役ニ而書付寫

市養者ニ而ニ

寺社奉行ニ

大目付ニ

諸向藤伍相殊ニ寅ニ迫来ニ 仰付ニ有之ニ而ニ而ニ有之ニ而ニ

起ニ請ニ後ニ而ニ其ニ殊ニ延川別ニ而ニ要ニ可有之ニ其ニ保度ニ

請ニ勢子并ニ請ニ対ニ寅ニ者ニ御世法ニ有之ニ并ニ御代ニ大迫ニ而ニ

法行ニ有ニ 其ニ而ニ有之ニ 御ニ意ニ而ニ意ニ而ニ失ニ又ニ有ニ然ニ有之

以ニ而ニ上ニ之ニ達ニ

十月

同十月有

別紙

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5

ガラス使用

蛮語を学候者共ニ而、彼方調練之事ニ而、蛮語之書籍を読、近来
猥ニ流行し、蛮夷之学術を仰候ニ付有之候得共、右等之内ニハ蛮夷西洋砲術習練之
儀ニ付 何れも有之候へ共、既ニ嫌疑之筋も相聞、世上広く行はれ候ニ付而ハ、若不
蛮語之書籍ニ因候而、諸説申立候儀も有之候ニハ、明時右之蛮夷学
術ニ不拘様相心得、御政事ニ而蛮之大船製造之儀も、猥ニ蛮文翻訳之書ニ
因り候ニ付、是迄御国風ニ不拘候而、一己之新奇を好み、利害を弁ス其方之風俗
相用候ニ付、形似候而、蛮用之器械之類ニ相用候儀ニ付而ハ、御為ニ不宜候ニ付
万一新奇を好候ハゝ、蛮語を学候者風俗ニ相拘り候而
御国威ニも拘り不容易 以来心得違無之様可被申候
右之趣、向々江可被相触候
十二月

同日
牧野備前守殿御渡候御書付写
大目付江
異国船近海ニ渡来もいたし、海防之儀ニ付異国船防禦之儀、御沙汰之趣も有之候処
年数久敷、泰平打続、士気も自然と弛み、防禦之仕方無覚束
心得違も無之様、兼而御沙汰も有之候得共、多人数之儀迚ニ手当も行届兼、浅ク、泰康
有余之人数ニ而、天保十三年ニ 御沙汰之趣ニ而、猶又海防之儀御沙汰
御手当海岸ニ而守備等之手当も有之候得共、泰平久敷之処、国家之為
手厚之御趣意ニ付、何れも大砲武器之類并人数手当も相整候様
可有心懸、武備之手当も有之候得共、手薄之人数之程合等之

諸事ニ取扱致シ候丈ケ差支ニ無之節人數相省キ實備ニ相成候様一ヶ所毎ニ心得可申旨被仰
付候ニ付従者ニ至迄事務之存寄無之様可相心得旨
申渡候　右之趣　御書付
撤兵之儀ニ付　御警衛御用相勤候節者諸事手軽ニ取計候様人数
並ニ器械之儀も兼而相達候通可相心得旨被仰出候間人数御用之節相伺可
申立候様被仰付候　御警衛之儀ニ付今般御台場警衛之節人数之儀
武器等之儀者兼而相達候通人数之儀減少等之儀者　御沙汰之趣相心得可申候
右之趣万石以上之面々江可被相達候

十二月

十二月十四日　御廻状

井伊掃部頭

此度異国船渡来之節内海江乗入候節ハ羽田大森辺江人数出張
御警衛之者共儀ニ依而相模国御台場御用之節ハ大森辺ゟ松平大膳大夫江
候　向後右之趣相心得候様、和田倉御門江御固メ一ヶ所相詰候
心得之旨被仰出候　御書付

松平肥後守

此度異国船内海江乗入候節内海御台場江乗入候節ハ御台場警衛
二之御台場相固候処、此節之儀者御台場警衛、大砲其外西洋流之
其之外共相心得候　大砲其外共蒸気船江乗込候節ハ　又松平大膳大夫
松平隼人正儀内海江乗入候節ハ　御書付之趣可被相心得候　御台場警衛

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5　　ガラス使用

松平能登守松平中務守内海市郡言場所 仰付出守可致申合依之
松平横國市傳場市用其 市急之成為代細川越中守 仰付出守可致
立居所在場所代合松平宮内之 注事是之通松平内海市都境
川内地方合之人數を以市郡言場所之後所 古之守為之 彼是用途松平可
後難義之 思之所 年壹月而 松平之 松平能所守 与地方之来
家仰市都境所為陳見 之事之 有於市白出院市録所列座同和
市同人 仰市出守 仰渡之

松平松横守

古日記之 武州市牧市敬之當 仰付所防衛不可出守 處市之 之事守 之
於市黒出院海列座同和市同人 仰市出守 仰渡之

細川越中守

古松横國市傳場市用其伊勢郡 松平城丸南手之 松平勅以 細川海市 警備
之 仰付所守向海之方 并松平大膳大夫 女子川 之 仰付女郎上番
之 之 松平内藤沢立花 右近將監 女子川 之 仰付出守 場所之
諸事之 合依之松横國之内 村之 市 所 之 仰付之 改事向和領
同様可 市場所 之 之 之 猶之 之 於市白出院
市録所列座同和市同人 仰市出守 仰渡之

松平大膳大夫

古日記 細川越中守 年二月 女子川 之 仰付之 有於同席列座
同和市同人 仰市出守 仰渡之

日本海上ニおゐて船々乗組之者共え不洩様申聞堅相守候様
異国之船ニ而も見懸候ハヽ早々其所之領主地頭え可訴出候此段急度相守可申候
此旨相触候　御料ハ代官
私領ハ領主地頭より可被申渡候
十二月

細川越中守

右
思召之趣ニ付先般相触置候通今般御書付を以被仰渡候旨御老中ゟ御達之趣
御書付於御白書院御老中伊豆守殿　松平伊豆守殿
御渡被成候

松平大膳大夫

右
思召之趣ニ付当地御書付を以被仰渡候趣於江戸表老中より
申渡有之　御請之
右之趣承知仕奉畏候　思召之趣可相守旨
日本領内之浦々申渡候　立花飛騨守
同十二月十三日過状

細川越中守
松平大膳大夫

右今般御達之御書付　御当地御触ニ付御領内ニも夫々可申付候也

[illegible]

同

十二月

同藤紀伊守殿内[illegible]

大同年[illegible]

[illegible]

和泉守

伊賀守

海賀守防禦[illegible]

[illegible]

[illegible]

同十二月[illegible]

水戸中納言殿

[illegible]

之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上意を以御一生之内年々異国之儀元致来り候ハ[illegible]
[illegible]
一海岸防衛[illegible]御用之外無之[illegible]
御一生之内年々異国之儀元致来り候ハ[illegible]
上使御懇之上意 御[illegible]
[illegible] 上使[illegible]
同日
同藤紀伊守殿御渡[illegible]
[illegible]
[illegible]

海岸防禦[illegible]御用[illegible]
伊勢[illegible]
[illegible]
三月[illegible]
[illegible]
寅正月十[illegible]
松平和[illegible]殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

正月

大月廿七日

[illegible]

正月

[illegible]

同 正月廿日

松平和泉守殿御[illegible]

[illegible]

大月廿七日

[illegible]

正月

同 正月廿日

松平和泉守殿御[illegible]

[illegible]

大月廿七日

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5
ガラス使用

四月廿日

松平伊賀守殿御渡候書付写

大目付へ

覚

亜墨利加人共此度差越候ニ付船中ニ而祝砲数発打放候由申立候

右ニ付右祝砲之義ニ而市中騒動等不致様并此方ゟ申達候様候ハヽ

右之趣浦賀表江も相達候様可申事

右之趣向〻江不洩様可被相達候

六月

一 嘉永六七年之頃異国船渡来之節英雄之武士

長州萩

松平大膳大夫様御内

当時七十才

覚見　善左衛門

一 武田豊前守事十万石程之大名を指

越前福井

松平越前守様御内

三十六才

浅田主税

一 同方ハ若年腕延時大名の論を与ふ

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』　請求記号 862-5

ガラス使用

862
5
6590

戊列川越
松平旅丸様御内
辛ハ才
山口宗悦

目方十貫目長刀をもふ

播列州路
酒井雅楽頭様御内
四十才
秋元周助

壽八分角弓 矢目方四拾五匁

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』 請求記号 862-5
ガラス使用

862
5

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』 請求記号 862-5

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国船渡来に関する公文書写』請求記号 862-5

ガラス使用